

目的
目標

日本の伝統音楽は、国内における愛好者や支持基盤の縮小から、次第にその技芸の継承が厳しい状況に直面している。そのため、本事業を通じて日本の伝統音楽に携わる若手音楽家や制作者等を育成するとともに、伝統の継承と世界に向けた魅力発信を促進し、世界的に日本音楽が受容される好循環を生み出す。

概要

日本音楽の魅力国内外の幅広い地域に発信することで、将来更なる活躍が期待される若手クリエイターに国際的な活動機会を提供するとともに、伝統的な日本音楽の演奏技術の継承と発展を図る。また、さまざまな日本音楽に係る事業を実施することにより、業界全体の活性化を促すとともに、国内外の関係者や提携団体の交流機会を醸成することで、本事業の持続的な発展を目指す。

3年目までの取組

公演やワークショップを実施し、日本音楽の魅力発信する。

(1) 箏・三味線・尺八等の演奏家をヨーロッパへ派遣、(2) 雅楽の演奏家を東南アジアへ派遣、(3) 創作邦楽の演奏家を北米に派遣、(4) (1-3)各事業における写真・映像素材を用いて広報マーケティング・アーカイヴする活動を実施。古典作品に加えて、現地の演奏家との交流を図る現代曲の上演も予定。海外公演の経験豊富な指導者のもと、講習と実践を通じた育成プログラムを展開。



(写真提供：伶楽舎)



(写真提供：日本音楽国際交流会)

5年目までの取組

派遣地域を拡大して、オセアニア地域や中東アジア等も視野に入れた公演を実施。日本の伝統音楽の様々な魅力を紹介できるよう事前広報と成果報告を通じて国内外にアピールし、更なる海外公演の機会の獲得につなげる。

(分野・ジャンル)

・舞台芸術(伝統芸能・大衆芸能)

(渡航先の国・地域)

・パリ(仏)、ホーチミン(越)、ニューヨーク(米)ほか

(国内外の連携・協力体制)

・国内外の音楽家や在外公館、教育機関、文化施設担当者

成果目標(見込)

目標値

企画段階から海外公演等々に登用される若手クリエイター等の数	29人
国内外の団体・企業等との連携数 (連携団体数、事業提携数、拠点形成数など)	10件
プロジェクトに関わる海外アーティスト・キュレーター等の数	19人
国内外で展開される公演・展示等の数	10回
国内外で展開される公演・展示等の入場者数	3,500人

中核となるクリエイターやアドバイザー

・徳丸吉彦

お茶の水女子大学教授・学部長、放送大学教授を経て聖徳大学音楽学部総合学科作曲・音楽研究コース教授。お茶の水女子大学名誉教授。海外ではモンテリオール大学、カリフォルニア大学ロサンゼルス校の客員教授。



育成対象者：29人

- ・演奏家24人(箏8人、三味線2人、尺八3人、笙3人、箏篋3人、龍笛4人、囃子1人)
- ・作曲家2人、プロデューサー・映像作家3人

プロジェクト 体制図

国内事業

【事業支援、協力等（公共、学術）】

各地自治体、大学等教育機関

【情報発信（上演会場、メディア）】

上演会場

チラシやSNS等を用いた広報宣伝

新聞雑誌・ウェブ関係の取材

情報交換

【クリエイター（芸術）】

国内共演者

演奏家、作曲家他

事業主体

日本音楽国際交流会

プロデュース ↔ 活動

【クリエイター（芸術）】

育成対象者

演奏家、作曲家、プロデューサー、

映像作家他

講習会受講

アドバイス等

【クリエイター（芸術芸能）】

指導者

演奏家、作曲家、プロデューサー、

映像作家、学者、音楽事務所他

海外事業

【事業支援、協力等（公共、学術）】

各国大使館、在外文化会館

各地自治体、大学等教育機関

【情報発信（上演会場、メディア）】

上演会場

チラシやSNS等を用いた広報宣伝

新聞雑誌・ウェブ関係の取材

情報交換

【クリエイター（芸術）】

海外共演者

演奏家、作曲家他

事業概要

(1) 三曲（箏・尺八他）

(2) 雅楽（笙・箏・龍笛他）

(3) 創作邦楽（三味線・太鼓他）

(4) 広報記録等

2024年

講習会・WS

講習会・WS

講習会・WS

講習会・WS

2025年

国内公演

国内公演

国内公演

広報発信

2026年

海外公演

海外公演

海外公演

アーカイブ

* ヨーロッパ地域ほか

* アジア地域ほか

* アメリカ地域ほか